

'09年5月1日富士山観望会

by kuma

5月1日。

富士宮口五合目に至るスカイラインが4日前に開通したので、早速丹星の仲間と共に今年の初五合目を楽しんできました。

実は1日か2日のどちらに行くか迷ったのですが、3日の午前中が曇りの予報でしたのでより確実な1日に上がったわけですが、結果としてこれが大正解でした。

後で知った事ですが、2日は夕方から曇りで全く観望が出来なかったそうです。

今年は幸先が良いぞ～。🎵

二合目水が塚駐車場から見た表富士の雄姿。雲ひとつない快晴ですが、春霞の影響でやや霞んで見えます。

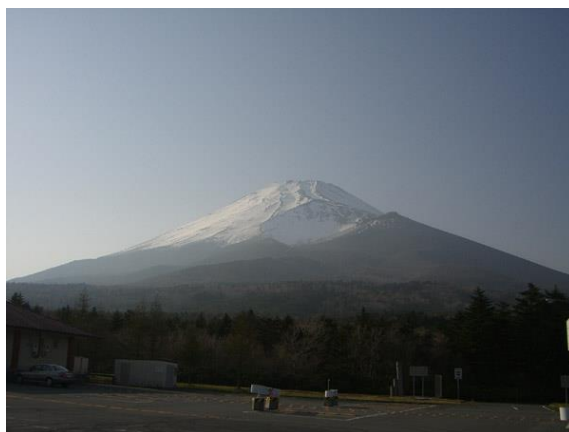


Photo kuma



Photo kuma

富士宮口五合目駐車場まであと2km付近。路肩にはラッセルされた残雪が積まれています。3年前のような雪の回廊状態には程遠く、こんなところにも温暖化の影響が表れているのでしょうか。

富士宮口五合目に到着。隣のセダンは先着のフィリップさんです。彼も私からの誘いを受け、お仕事を半休してやって来ました。今日の予報は晴天確実でしたからね。

下界を見ると春霞でうっすらと雲海状態になっています。これも狙い通りだね。



Photo kuma

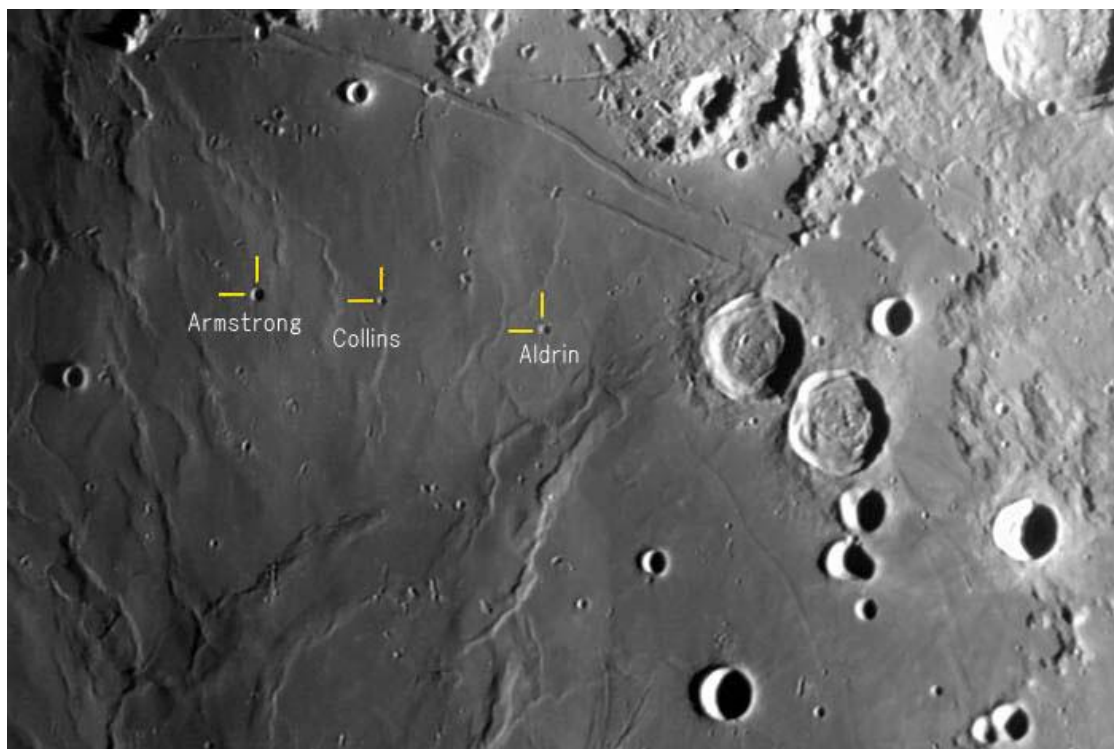
五合目駐車場の様子。やはり周りに除けられた雪の量が少ないなあ。それにしてもさすがは五合目。水が塚と比較してもバックの空の青さがまるで違う。標高 2,400m は偉大です。日没前にはいつもの仲間が次々に到着。他の一般車両もないので機材の設置を開始します。



Photo kuma

頭上には上弦の月が見えています。今夜は夜半までは月と土星を、夜半からは DSO メインで観望する予定です。手始めに頭上の月を見たところ、まだミラーが冷えていないにもかかわらずこれらがなかなかシャープな姿。どうやらシンチレーションもかなり良好。

ちょうど静かの海付近が夜明けを迎えたばかりなので、これまで何度かチャレンジしていた対象を見てみました。



・アームストロング～コリンズ～オールドリン

Photo by Thierry Legault

静かの海南部にあるアポロ 11 号の英雄たちにちなんで名付けられた 3 つの小さなクレーター。最初にイースス 8 mm を装着。210 倍でも存在は確認できましたが、2 倍パワーメイトを足して 420 倍で見ても像が破綻することなく明瞭に見えています。直径 5km のアームストロングは普段でも比較的容易に見えますが、2km 台のコリンズとオールドリンは相当な難物であり、これまで何度かチャレンジしては跳ね返されていただけにこれは嬉しい初モノでした。とは言え今夜の見え方からすると、

アルプス谷内部の溝よりは見易いような気がします。月が大きいとなかなか観望する機会も少ないし、これまでチャンスロスをしていたのでしょう。

はるパパ会長が長時間食い入るように月面を観ています。隣に陣取ったフィリップさんが詳しい位置を教えてほしいと言うので、PCを立ち上げて月面図で詳細な位置を教えてあげる。晴れの海内部にあるリンネも輪郭がはっきりと確認できました。

見終わった後に眩しさで目が潰れたと騒いでいたけど。



Photo kuma

驚いた事にハセガワさんのFSでも200倍でその存在が確認できます。13cmでも見るとは新発見でした。さすがに光量が落ちるとはいえアポ特有のシャープな像は見事でした。シーイングが良い時の月面は見ていて本当に面白い。今日改めてそれを再認識しました。



Photo kuma

直ぐ近くの土星も素晴らしくキレイのある姿で、あれだけ輪が薄いにもかかわらずカッシーニが明瞭に見える。本当に小躍りしたくなる瞬間です。上空にはうっすらと霞が発生しているにもかかわらず、この極上のシーイングは嬉しい誤算でした。

フィリップさんが随分と低い対象を狙っています。あまりの好シーイングに気を良くされたようで、シリウスに筒先を向け伴星が見えていると私に教えてくれる。勢い込んで彼の筒のご相伴に預かると、確かにシーイングの落ち着いた時にそれらしいものが見えなくもないけど、確実に見えたとは言い難かった。もう少し高度の高い時を狙わないと厳しいと思うので、また来年再チャレンジという事で。



Photo kuma

続いて以前から狙っていた対象に筒先を向けます。私的には今日のメインイベントの一つでした。



・UGC3697 Intergal Sign Galaxy

きりん座にある微小な DSO で、画像の通り積分記号のような形からこの愛称で呼ばれています。普通なら月明かりの夜に見る対象ではないのですが、21 時過ぎには富士山の向こうに隠れてしまう事を予め調べておいたので、周りの恒星の位置だけでも確認できれば、と無理やり狙ってみました。

中川義通氏撮影

きりん座 43 番星を起点に星を辿り、この画像の構図を視野に入れることは出来たものの、12.9 等ではさすがに DSO の姿をとらえるのは困難。ほんの僅かに一本の線らしきものが見えていたような気もしますが、くびれた部分は全く見えません。この部分を見るのは 50 cm 級じゃないと無理かも。今日はダメ元で位置だけでも確認出来れば十分と考えていたのでそれなりに収穫はありました。次は闇夜に再度チャレンジしてみます。

※さすがにマイナーな対象だけにネットで探してもこの姿を捕らえた画像がほとんど見当たりません。国内サイトで唯一見つけたのが中川さんの HP で、氏の許可を得た上でこの画像を掲載しました。

ついでにおおぐま周辺の対象を幾つか見ました。

M81&82、M97&108、NGC5907&M102 など、月明かりの中ではやや貧弱でしたが、二つの DSO が接近した姿はそれなりに楽しめます。

薄明終了の頃に fukuda さんが到着。

先日の湯河原で見損ねたペンタックスの 10 cm SD を持って来てくれました。

早速重星を幾つか見せてもらいましたが、回折リングの美しさが見事。初めて覗いた筒でしたが優秀な光学系であることが判ります。



Photo kuma

夜半を過ぎてようやく月も沈み闇夜が訪れたと期待したのも束の間、南側の光害が酷くて思いのほか透明度が良くなりません。天の川もそれなりに見える程度の空。

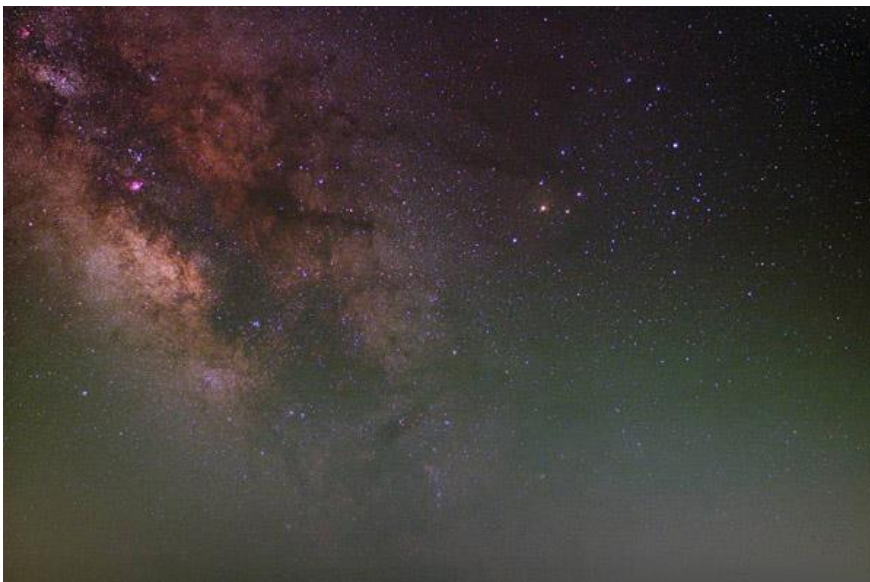
fukuda さんが一デジでいて座周辺を撮影されたので幾つか紹介します。



・M8&20

もちろん肉眼でも確認できましたが、光害の渦の中ではその姿も貧弱でした。

kitty ドブで見た 420 倍の M20 は凄く迫力があり、暗黒帯の三裂の姿もクッキリと見えていました。



・さそり座～いて座の銀河

さそり座の下半分が光害の中に埋もれている姿。

今の富士山の光害状況を象徴する作品ですね。

夜半を過ぎて不意に一人の訪問者に声をかけられました。

月没に合わせて撮影するために遥々千葉からいらしたそうで、予想以上に空が明るいと言っておられ機材のセットを躊躇している。

ドブで M13 などメジャーな対象を幾つか見せてあげたところ、生でこんなに見えるとは知らなかったと驚いている。聞けばいつも撮影オンリーで天文ガイドで最優秀に選ばれた経験もあるとの事。眼視は全くやらないのでこんなにハッキリと見えるとは思ってもみなかったとか。だから眼視は面白いんですね。

結局 1 時間ほど一緒に観望され、撮影はせずそのまま帰宅されました。遥々千葉からいらした事だし、多少なりとも来た甲斐があったと感じていただければ嬉しいのですが。



撤収前の最後の記念撮影。※ヒデアキさんより提供

好シーイングに気を良くしてここまで夕方からぶっ通しで見続けたおかげで全員がバテ気味。薄明開始まではまだかなり時間がありましたが、今夜はこれにて撤収となりました。

昨年は悪天続きでほとんど富士山まで来ることが出来ませんでした。

今年の初五合目は幸先の良いスタートが切れたことだし、今年こそは天候に恵まれますように。

了